

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成 27 年度第 2 回高松市中央卸売市場開設運営協議会
開催日時	平成 27 年 5 月 20 日(水)午後 1 時～午後 3 時 20 分
開催場所	高松市中央卸売市場 5 階 大ホール
議 題	(1) 高松市中央卸売市場の再整備に関する提言書について (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	会長、副会長、委員 7 名 (欠席 1 名)
傍聴者	1 人 (定員 6 人)
担当課及び連絡先	中央卸売市場業務課管理係 862-3411

審議経過および審議結果

議題 1

高松市中央卸売市場の再整備に関する提言書(案)について内容を審議し、内容を確定した。

議題 2

高松市中央卸売市場整備懇談会細川允史会長より、全国の卸売市場の情勢について情報提供があった。

主な審議内容

議題 1

（事務局）

「高松市中央卸売市場の再整備に関する提言書（案）」の内容を読み上げ、ここまでに至る経緯を説明した。

（会長）

提言書の内容に込められた想いについて補足説明があった。提言を機に、P2の掲示物に気が付いた。

提言は、高松市中央卸売市場整備懇談会（以下、「懇談会」という。）からの検討結果報告書（以下、「報告書」という。）の内容を網羅し、エッセンスを抽出している、午後4時の市長提言まで時間が少ないが、最終案に対する御意見をいただきたい。

（副会長）

「明るい未来」「次世代につなぐ」は私たちにとっては重要な表現である。提言書の表現は、委員各位の発言内容を丁寧に置き換えしていただけている。不足があればフォローをしていただきたい。

（委員）

出荷団体に魅力のある市場にならないといけない。産地は市場集約をし、魅力ある市場に荷物が集中する。市場関係者の経営基盤強化を十分に考えてほしい。

（委員）

「食の情報発信拠点」と明記されていることが嬉しい。物流と品物が関連付けられて表記されていることが、今後の市場にあるべき姿を現している。

（委員）

提言1～5には懇談会報告書の内容を良く網羅されている。提言6では、整備にむけてスピード感が必要。荷物を集められる新たな市場が開設されることを期待している。

(委員)

大田市場では若い女性が多く働いていた。市場は朝が早い。共働き世帯も多い中で、保育施設があると若い女性も働きやすい。相乗効果の期待できる施設が必要。目標年度が見えてこないことが懸念事項である。

(委員)

委員のコンセンサスが必要。提言書は非常によくまとめられている。提言3(2)の観光客誘致など、委員の意見がきちんと網羅されている。

(委員)

懇談会報告書の膨大な文章の中から、必要な内容を簡潔にまとめられており、大変読みやすい。また、具体的な事例を出していくことで目指していくものが明確になっている。

(委員)

とてもよくまとまっている。

昭和52年に作られた施設に込められた想いが代々引き継がれていると思う。しかし、時代が変わり、物流、人の流れが大きく変わった。移転候補地は慎重に選定してほしい。すべての条件を網羅した計画は難しいのかもしれないので、切らないといけない箇所も出てくるだろう。

保育施設は必要だと思われる。また、アートの視点で、今後の子どもたちが、市場の建設に携わった経験があれば、大きくなり地元を回顧する機会ともなるだろう。

(会長)

今までの意見以外に、「川下側(小売り)との連携の視点が必要」「市民消費者の参画意識に訴えなければならない」との御意見も頂いている。

商品は生きている。働いている人々も生きている。命のつながりの一部を市場が担っている。提言2には四国を網羅した決意も込めている。

これまでの意見を踏まえて、文言の修正をしたい。委員の御審議をお願いする。（会長からの修正案の提示ということで、議事進行を齊藤副会長に引き継ぐ）

（副会長）

議事進行を引き継ぎ、修正内容について承認を得る。

（委員）

承認

（副会長）

それでは、この内容で本日午後4時から市長へ提出する。

議題2

（事務局）

懇談会細川允史会長を紹介

（細川懇談会会長）

事例紹介

閉会 午後3時20分